



京都文教短期大学 保護者会

会報 第57号 令和6年8月5日発行
編集・発行：京都文教短期大学保護者会

〒611-0041 京都府宇治市槇島町千足80
<https://www.kbu.ac.jp/kbic/>

総務課	0774-25-2405	入試広報課	0774-25-2408
学生課	0774-25-2497	就職進路課	0774-25-2524
教務課	0774-25-2411	図書館事務室	0774-25-2420
フィールドリサーチオフィス	0774-25-2630		

■ 学長よりご挨拶

◆ 生きる力（ちから）を身に付けよう！

日頃は、本学の教育活動に格別のご理解とご協力を頂戴しておりますことに、本学を代表して深く感謝申し上げます。

今年は京大文教学園創立120周年です。11月には記念式典の開催を予定しています。また今年1年をかけて色々な取り組みが展開されます。多くの優れた先人たちにより、京大文教学園は発展してきました。本学も開学して64年です。37,000名を超える卒業生を輩出してきました。「就職に強い文短(ぶんとん)」は、学生自身の努力もさることながら、優れた同窓生のお陰です。それぞれの専門分野で活躍する先輩たちが、社会において高く評価されている結果です。

本年4月、138名の新入生を迎えました。2年間の学生生活を楽しんでほしいと願っています。さらに、学生たちには「建学の精神」のもと本学が目標とする『人間力・社会力・専門力』を身に付け、複雑な社会を生き抜く『柔軟な“こころ”と“からだ”』を育ててほしいと思っています。

コロナ禍以降、出生数は大幅に減少し、労働人口の減少、さらに超高齢化社会の到来等、我が国の社会構造は大きく変化しています。その様な社会の中で学生たちは社会人として、また親として生き抜くことになります。少しでも豊かで幸せに暮らし、そして人生を送るうえで本学での2年間は大変重要であると考えます。2年間の学びを通して、自身の進むべき道や将来の夢を見つけ、その為に「今何が必要か」、「何をすべきか」に気づいてほしいと思います。人間（ひと）は、“気づく”ために学び、考え、そして行動に移します。学生一人ひとりが“気づく”ことのできる教育環境を作り出すことが我々教職員の役割です。

表題の『生きる力（ちから）を身に付けよう』は、学生たちへの応援メッセージです。建学の精神である『謙虚にして真理探究、誠実にして精進努力、親切にして相互協同』の具現化こそ、“生きる力”の基礎であると考えています。本学での2年間、目標をもって充実した学生生活を送って下さい。教職員は学生一人ひとりが満足し、成長できるように努力する所存です。保護者の皆様方におかれましては今後ともご支援の程よろしくお願い申し上げます。



第65回入学式(令和6年4月1日 於：本学同唱館)

京大文教学園のホームページ上に『[学園120周年記念サイト](#)』が開設されています。学園の歴史や将来へ向けた取り組み等をご覧いただけます。また記念事業募金（寄付）もお願いしています。ご支援、ご協力ください。

京都文教短期大学

学長 森井 秀樹

■ 保護者会役員会

◆新会長に塩田みどり氏を選出

令和6年5月18日(土)午前10時より光暁館会議室において会計監査、11時より役員会を開催し、本年度総会は書面にて決議を行う方法で実施されました。役員会では、開会にあたり令和5年度会長の菱田俊弘氏の挨拶にはじまり、森井学長の挨拶の後、庶務より令和5年度の主な事業報告として、令和5年5月18日の役員会、総会（書面決議）開催、保護者会報の発行について、学生厚生補導費、教育・就職支援補助費、教材補助費からの各事業について報告があり、事業報告について異議なく承認されました。

続いて保護者会決算報告を会計より、会計監査報告を会計監事中村直美氏より報告され、令和5年度保護者会決算報告並びに会計監査報告について異議なく承認されました。

令和6年度新役員には、学長より事前に推薦がなされ会長 塩田みどり氏、庶務 滝口奈津子氏、会計 浅原映美氏、会計監事 鷺玲子氏が選出された。新会長 塩田みどり氏の挨拶の後、令和6年度事業計画(案)が庶務より提案され、今年度も学生厚生補導、学生指導補助、進路就職に関わる教育・就職支援補助、教育支援補助、教材補助等の充実を図り、また災害対策用備蓄として水・非常食を購入する旨などの説明がされ承認されました。

なお、本役員会での承認内容については、会員の皆様へ書面決議ハガキを送付することが承認され、今年度の役員会を終えました。



■ 保護者会会長よりご挨拶

保護者会の皆様にはご清祥のことと大慶に存じます。この度、令和6年度保護者会会長に就任させていただきました塩田みどりです。至らない点が多々あるかと思いますが1年間、精一杯努めさせていただきます。

保護者の皆様には日頃より保護者会の活動にご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

4月から3ヶ月が過ぎ、学生生活も落ち着いてきた頃だと思えます。多くの学生たちの楽しそうな声、授業を真剣に取り組む姿、日々の活動に一生懸命頑張っています。今年の夏も猛暑になりそうです。学生たちも熱中症にならないよう体調管理を充分にして学生生活を満喫していただきたいです。2年間という短い期間ではありますが、社会へ出てゆく為の力を身につけるべく日々それぞれの学びに精進しています。その学生生活を安心して送れるよう、サポートするのがこの京都文教短期大学保護者会の役割だと思っております。保護者の皆様には今後ともご支援、ご協力を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、京都文教短期大学の更なる発展、皆々様の御多幸を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

京都文教短期大学保護者会
会長 塩田 みどり

令和6年度保護者会役員

会 長	塩田 みどり (幼教Ⅰ)	庶 務	滝口 奈津子 (幼教Ⅰ)
会 計	浅原 映美 (幼教Ⅰ)	会計監事	鷺 玲子 (ライフ総合Ⅰ)

令和5年度 京都文教短期大学保護者会決算書

収入の部		(令和5年4月1日～令和6年3月31日) (単位:円)		
科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
会 費	4,368,000	4,392,000	△ 24,000	12,000×366名
預 金 利 息	25	20	5	
前 年 度 繰 越 金	28,126	28,126	0	令和4年度繰越金
収入の部合計	4,396,151	4,420,146	△ 23,995	

支出の部				
科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
学生厚生補助費	1,800,000	1,585,788	214,212	卒業記念品及び祝賀会、学生自治活動、学生生活支援、安全対策費等補助・災害対策用備蓄購入
卒業支援費	250,000	250,000	0	京都文教短期大学ブラザー奨学金へ補助
図書補助費	1,300,000	1,298,503	1,497	図書購入
教育・就職支援補助費	470,000	315,780	154,220	教育・就職支援へ補助
教材補助費	350,000	671,000	△ 321,000	教育・研究用備品等へ補助
会議費	5,000	2,384	2,616	保護者会役員会経費
事務費	100,000	82,902	17,098	通信費
印刷費	50,000	0	50,000	
雑費	50,000	0	50,000	
予備費	21,151	0	21,151	
次年度繰越金	0	213,789	△ 213,789	
支出の部合計	4,396,151	4,420,146	△ 23,995	

令和5年度 京都文教短期大学保護者会決算書及び会計帳簿について監査したところ適正であることを確認した。

令和6年5月18日

会計監事 植村幸子 ㊟

会計 林裕子 ㊟

会計監事 中村直美 ㊟

令和6年度 京都文教短期大学保護者会予算書

収入の部		(令和6年4月1日～令和7年3月31日) (単位:円)		
科 目	本年度予算額	前年度予算額	差 異	備 考
会 費	3,516,000	4,368,000	△ 852,000	@ 12,000×293名 ※5/1現在の学生数302名より約3%減(退学・休学者見込み数)で設定
預 金 利 息	20	25	△ 5	
前 年 度 繰 越 金	213,789	28,126	185,663	令和5年度繰越金
収入の部合計	3,729,809	4,396,151	△ 666,342	

支出の部				
科 目	本年度予算額	前年度予算額	差 異	備 考
学生厚生補助費	1,560,000	1,800,000	△ 240,000	学生自治活動・各クラブ活動引率経費・災害・安全対策費等へ補助
卒業支援費	250,000	250,000	0	京都文教短期大学ブラザー奨学金へ補助
図書補助費	960,000	1,300,000	△ 340,000	図書購入
教育・就職支援補助費	290,000	470,000	△ 180,000	教育・就職支援へ補助
教材補助費	500,000	350,000	150,000	教育・研究・施設備品等へ補助
会議費	5,000	5,000	0	保護者会役員会経費
事務費	100,000	100,000	0	通信費・宛名ラベル等
印刷費	10,000	50,000	△ 40,000	封筒印刷
雑費	30,000	50,000	△ 20,000	慶弔費を含む
予備費	24,809	21,151	3,658	
支出の部合計	3,729,809	4,396,151	△ 666,342	

■ 教 務 課 よ り

◆成績・時間割等確認方法について

本学では、Webポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT (ユニバーサル・パスポート、通称：ユニパ)」にて成績及び学期期間中の個人時間割をパソコンやスマートフォンからいつでも確認することができます。さらに大学からのイベントや講演会等の各種お知らせ機能も追加され、メールでお知らせを受け取ることもできます。

ユニパへのアクセスにはログインID・パスワードが必要になります。ID・パスワードは、入学年度5月頃に本学よりお送りいたしましたハガキに掲載しております。

〈成績・時間割確認方法〉

- ①保護者向けサイトURL (<https://sites.google.com/po.kbu.ac.jp/kbjchogosya/?>)
または右QRコードよりアクセスしてください。
- ②保護者向けサイトの「成績・時間割確認の方法」よりユニパにアクセス、ログインいただけます。
- ③メールのお知らせ機能は、ユニパへログイン後、右上の[setting]をクリック、左上の[メール設定]をクリックし、受信メールアドレスを入力してください。



※成績発表後にいくつかの正当な理由(再試験結果の反映、休学による成績削除など)によって発表された成績が変更される場合があることをご承知おきください。

※スマートフォンの場合は、「スマートフォンはこちら」をクリックせず、ID・パスワードを入力してログインしてください。

※パソコン・スマートフォン等のインターネット接続環境をお持ちでない方はご相談ください。個別で郵送させていただきます。ただし、学期ごとの申し出となります。

前期成績発表・・・8月下旬

後期成績発表・・・2月上旬(成績確定は3月上旬です)



ご不明な点等ありましたら、本学教務課までご連絡ください。

〈お問い合わせ先〉 京都文教短期大学教務部教務課

TEL : 0774-25-2411 E-mail : aca-aff@po.kbu.ac.jp

■ 学 生 課 よ り

キャンパスライフ

◆今年度の学生支援

2024年4月1日入学式。新入生を迎え、当日午後より学生課・障がい学生支援室・健康管理センター・学生相談室の相談員面々は学生支援相談コーナーを設け、保護者の方々と新入生の質問や問い合わせに対応いたしました。ご質問は主に①奨学金(給付・貸与)、保育士修学資金貸付事業(各府県が実施している事業)について②授業における配慮など③一人暮らしのご心配もお伺いしました。1組ずつ個別の状況を聴き取り、必要かつ正確な情報提供と具体的な手続方法のスケジュールの見通し、そして本学の規定やルールなどをお伝えしながら、2年間の学生生活の環境面、人的支援についてご安心いただけるよう説明いたしました。

目標に向かって努力を続ける2年生は社会人への入口が近づき、一層求められる学習の質の向上や知識技術を発揮する学外実習への準備などフル回転での日常に疲れを感じることもあります。経済面、人間関係、体調などさまざまな事情から困りごとや悩みを抱えた学生に対して、学生課、障がい学生支援室をはじめ、学生相談室、健康管理センターが窓口となり、相談に応じています。必要な支援を求めるすべての学生にとって、学生生活が充実したものとなるよう環境整備を推進

し、学生一人ひとりに沿った対応を日々、行っています。

学生の修学と日常生活を見守り、支えておられる保護者の皆様に、本会報におきまして、学生課より本学の学生生活支援の状況をご報告させていただきます。

◆下宿生のつどい

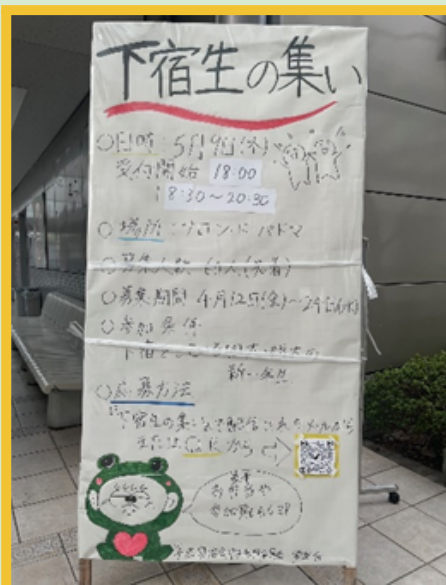
5月9日（木）学生自治会中央執行委員会、学友会、学生課共催で一人暮らしの新入生対象【下宿生の集い】を開催し34名が参加しました。

初めての一人暮らしの不安を少しでも解消し、新たな友人や相談のできる先輩等を作る機会として毎年開催しています。

短大学長の森井秀樹先生と大学学長の森正美先生のあいさつとエールからスタート！

参加者はグループに分かれクイズやゲームに奮闘。課外活動団体の紹介を聞きながらお肉盛りだくさんのお弁当を食べる頃には同じグループのメンバーと打ち解けた様子が見られました。ゲームとクイズの結果発表では上位3チームには豪華賞品（一人暮らしで役立つ賞品）や学生情報センター（ナジック）さまからのプレゼント（QUOカード）が贈呈されました。

閉会してもしばらくグループで談笑しており、アンケート結果は満足度100%。「不安が解消し、仲良くなり楽しめた！」と大好評でした。



◆2024年7月 涼暮祭2024が開催されました

7月5日（金）、大学祭（指月祭）のプレイベントとして「涼暮祭」が開催されました。今年度は日程を1日に絞り、お昼からのスタートに変更し、学生をはじめ近隣の小中学校の児童、保育園・幼稚園の子どもたちを連れてご家族など、地域の方々にも楽しんでもらえる七夕まつりを目指しました。実行委員によるかき氷やわたがしなどの模擬店や、ゲームを同唱館周辺に出店。館内ではクイズ企画・ステージ発表の企画が満載でした。参加学生と地域の方で延べ500名を超える来場で賑わっていました。当日は「夜のオープンキャンパス」開催日と重なり、高校生にも本学課外活動のパワーと学生のやる気を届けられた一日となりました。

当日の催し

歌、ダンス、演奏、
 実行委員企画の『答える君へ』『みんなでアウトロドン♪』
 同唱館受付奥（ホワイエ）にてスーパーボールすくい、箱の中身はなんだろうな、
 おみくじ、VRお化け屋敷、わたがし、かき氷の販売



◆2024年11月 指月祭2024「テーマ：breaking the limit」を開催いたします

本学の一大イベント「指月祭」は11月9日（土）,10日（日）に開催が決定いたしました。今年のテーマは「breaking the limit」は「限界を超える」ということ。テーマカラーは「赤色」です。

今年度は、昨年度の指月祭と異なる新たな試みを企画しています。そのなかで降りかかる限界や壁を突破して新時代の指月祭を作りたいとの思いが込められ、実行委員の情熱と新たな挑戦をテーマカラーの赤色で表現しています。

本学の指月祭は大学生・短大生で組織された大学祭実行委員会により実施されます。イベント・模擬・情報宣伝・装飾・ステージ・執行部門に分かれ、鋭意準備を進めています。120周年記念の年の開催を意識し、多くの参加者に楽しんでもらえるステージ、イベント、出店をパワーアップし皆さんをお迎えします。保護者の皆様もどうぞ温かな応援をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

◆学友会の年間事業計画

4月 ・新入生、2回生へ 学内食堂食券配付

・新入生歓迎会（お菓子配付）

- 5月 ・下宿生のつどい ・学友会総会
- 9月 ・ビンゴ大会
- 11月 指月祭での短大特別企画 ①スペシャルトークショー ②飲食外模擬店
- 12月 クイズ大会
- 3月 卒業式当日の写真撮影ブース設置

◆クラブ・同好会紹介

(2024年6月現在)

○クラブ 9 ○同好会 1 計 10

- ★バレーボール部
- ★バドミントン部
- ★バスケットボール部
- ★美術部
- ★茶道部
- ★弓道部
- ★女子硬式野球部
- ★JOM
- ★食育クラブ
- ★ちょいスポ (同好会)

2023年 関西女子硬式野球リーグ(通称ラッキーリーグ)で好調な戦績を残しました。
今年度も秋の大会に向けて、練習を重ねています。



女子硬式野球部



☆その他 大学の登録クラブ (吹奏楽部・京炎そでふれ! 文舞蘭) にも入部しています。

◆ 「月影奨学金」 「宗立宗門校奨学金」 「知恩院奨学金」 授与式

本学では毎年、各学科より推薦された成績優秀な学生へ奨学金が給付されます。

1回生は各学科1名ずつの計3名に「知恩院奨学金」(1名に5万円)が授与されます。

2回生は前期に「宗立宗門校奨学金」(10名)、後期には各学科の成績上位の者(学生数の約8%)に対して「月影奨学金」が授与されます。成績上位の学生は、真摯に学業に取り組み、頑張った学生たちの代表でもあります。昨年度授与式では、森井学長、久米学生委員長より温かなエールが贈られました。授与された奨学生は学内に氏名のみ掲示しています(学生了承)。

* 月影奨学金は2024年度より同窓会あおい会奨学金「月影奨学金」となりました。

採用趣旨の変更なく、2回生前期までの成績上位者を学科ごとに推薦し、採用が決定されます。



月影奨学金・知恩院奨学金授与式(2023年度)



浄土宗 宗立宗門校奨学金授与式(2023年度)

◆学生支援の相談窓口について

「相談したいな」と思ったら...

それぞれの相談内容に合わせてリンクに飛べます。
まずは相談予約を入れてみませんか？



あなたの相談ごとは何ですか？

- 1 **健康面での心配がある**（病気のこと・服薬について・ケガについて...等）
→ [健康管理センター](#)へ
（↑をクリックするとメール画面にリンクしています。本文にお名前と相談内容を書いて送信してください）
- 2 **心の面での心配がある**（イライラや落ち込み・誰にも話せず悩んでいる...等）
→ [学生相談室](#)へ
（↑をクリックするとHPにリンクしています。その中の「お問い合わせ」からご連絡いただけます）
- 3 **病気や障がいなどにより授業で困っていることがある**
（欠席が多くなる・提出期限までに課題ができない・人前で発表できない・教室に入れない...等）
→ [障がい学生支援室](#)へ
（↑をクリックすると面談予約ができます）
- 4 **学生生活のことで悩みがある**
（奨学金・経済面の悩み・課外活動・アルバイト・休学や退学...等）
→ [学生課](#)へ
（↑をクリックするとメール画面にリンクしています。本文にお名前と相談内容を書いて送信してください）
- 5 **大学内でのイジメや嫌がらせについて悩んでいる**
（学生どうしのイジメや嫌がらせ、先生から学生へのハラスメント...等）
→ [キャンパスハラスメント相談室](#)へ
（↑をクリックするとメール画面にリンクしています。本文に相談内容を書いて送信してください）

■就職部・就職進路課より

保護者の皆様方におかれましては、平素より進路・就職支援事業に格別のご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。本学では、学生一人ひとりの夢の実現に向けて、充実した進路支援体制を構築しています。「2年間で、夢への第一歩を踏み出す。」ために、専門知識・スキルの習得とキャリア形成を両立できるよう、幅広いプログラムと個別のサポートを提供しています。

以下令和5年度の概況含め、本学の支援体制や保護者に向けたサポートなどについて書かせていただきましたのでご一読いただければ幸いです。

1. 概況

令和5年度の就職活動は、新型コロナウイルスの影響が依然として残る中、学生・企業双方にとって新たな様式への適応が求められました。オンライン選考の定着や早期化、企業説明会のバーチャル開催などが進み、就職活動のあり方が大きく変化しました。

2. 主な特徴

①就職率（詳細は12ページ「令和5年度卒業生の進路・就職状況」参照）：

文部科学省の調査によると、令和5年度卒業生の就職率は97.4%となり、前年度を下回りました。本学の就職決定率は就職希望者に対して98.2%となり、昨年の100%から下がったものの依然高く、毎年多くの学生が希望の進路に就職しています。

好調な経済状況や企業の積極的な採用活動が背景にあると考えられます。

②早期化・前倒しの選考：

多くの企業が選考スケジュールを前倒しし、本来の6月よりも早めて選考を開始する企業が目立ちました。

学生にとっても早期に内定を得ることが重要となり、計画的な活動が求められました。

③オンライン選考の定着：

企業説明会や面接など、多くの選考過程がオンラインで行われました。

学生は場所や時間に縛られず、効率的に活動できるようになりましたが、一方でコミュニケーションの難しさや情報格差が生じる課題も指摘されています。

④学生の志望動機：

「安定志向」や「ワークライフバランス」を重視する学生が増加しました。

3. 多彩なキャリアサポートプログラム

入学以降にスタートする「進路オリエンテーション」や「就職ガイダンス」では、自己分析や目標設定、就職活動の進め方などを体系的に学び、将来への意識を高めることができます。一般企業向け就職に加え、保育園・幼稚園、栄養士職向けの専門職に向けてのガイダンスやイベントも行い学内企業説明会、OB・OG訪問など、実践的な経験を通してキャリアを深めることができます。

4. 個別指導によるきめ細やかなサポート

就職進路課では、学生一人ひとりのニーズに合わせたきめ細やかなサポートを提供しています。進路面談では、職員スタッフが個別に相談にのり、目標や状況に合わせたアドバイスや情報提供を行います。就職活動スケジュール管理や求人紹介、面接対策など、就職活動のあらゆる面でサポートを受けられます。また、資格取得については、Excel、Word、PowerPointのパソコン検定、簿記や秘書検定などビジネスの場で必要な各種検定の案内をしています。資格取得は、就職活動における有利な武器となるだけでなく、将来のキャリアアップにも繋がります。



5. 卒業生の活躍

本学の卒業生は、様々な分野で活躍しています。就職実績は高く、毎年多くの学生が希望する進路に就職しています。保育士、幼稚園教諭、栄養士、事務職、販売職など、幅広い職種で活躍する卒業生がいます。

大学への編入学を目指す学生もあり、四年制大学への編入学実績もあります。大学での更なる専門知識の習得や、研究活動への挑戦など、様々な夢を実現しています。

6. 保護者の方への就活サポート

保護者の方々に対して、就活のサポートを行う際のアドバイスをいくつかご紹介いたします。

①情報収集をして共有する：就活においては、情報収集が非常に重要です。保護者の方々は、就活情報や企業研究、面接対策など、学生が必要な情報を積極的に収集し、共有してください。

- ②学生の意思を尊重する：就活は学生自身の人生の選択であり、学生の意思を尊重することが大切です。保護者の方々は、学生の希望や目標に合わせたアドバイスを行い、自己責任を持って進めるようにサポートしてください。
- ③モチベーションを高める：就活は長期間にわたるプロセスであり、挫折や失敗もついて回ります。保護者の方々は、学生のモチベーションを高めるために、応援の言葉や励ましを送りましょう。また、自信を持って取り組めるように、過去の成功経験や強みを振り返ることも有効です。
- ④ サポートする場を提供する：保護者の方々は、学生が相談できる場を提供してください。就活においては、悩みや不安がつきものです。保護者の方々が学生の相談相手となり、必要なアドバイスや解決策を共有することで、学生の就活をサポートしてあげましょう。

以上就職進路課では、本人が自立に向けた主体的な進路選択ができるように指導して参ります。今後とも、保護者の皆様方の温かいご支援・ご協力をお願いいたします。



学内企業説明会の様子



令和5年度 卒業生の進路・就職状況 令和6年5月1日現在

()内数字は令和4年度

京都文教短期大学 就職部 就職進路課

学科		ライフデザイン	食物栄養	幼児教育	合 計	備 考
項 目						
A. 卒 業 者 数		52 (61)	40 (41)	102 (106)	194 (208)	
B. 大 学 進 学 等		2 (4)	0 (0)	2 (1)	4 (5)	大学4名
C. 専 門 学 校 等		1 (1)	0 (1)	1 (0)	2 (2)	専門学校2名
D. アルバイト 等		3 (8)	7 (5)	3 (7)	13 (20)	注:週30時間未満または雇用契約期間1年未満の者 アルバイト13名
E. 進 学 準 備 等		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
F. そ の 他		1 (2)	0 (0)	5 (2)	6 (4)	その他6名
G. 不 明		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
H. 就職希望者数		45 (46)	33 (35)	91 (96)	169 (177)	
I. 就職決定者数		44 (46)	33 (35)	89 (96)	166 (177)	
J. 未就職者数 (H-I)		1 (0)	0 (0)	2 (0)	3 (0)	
K. 就職希望率 (H/A)		86.5% (75.4%)	82.5% (85.4%)	89.2% (90.6%)	87.1% (85.1%)	
L. 就職決定率 (I/H)		97.8% (100.0%)	100.0% (100.0%)	97.8% (100.0%)	98.2% (100.0%)	
就職 先 業 種	農業、林業	0	0	0	0	
	鉱業、採石業、砂利採取業	0	0	0	0	
	建設業	1	0	0	1	
	製造業	6	0	0	6	
	電気・ガス・熱供給・水道業	1	0	0	1	
	情報通信業	0	0	0	0	
	運輸業、郵便業	0	0	0	0	
	卸売業・小売業	15	1	0	16	
	金融業・保険業	0	0	0	0	
	不動産取引・賃貸・管理業	2	1	0	3	
	広告・その他の専門・技術サービス	0	0	1	1	
	宿泊業、飲食サービス業	3	22	0	25	栄養士15名
	生活関連サービス業、娯楽業	3	2	1	6	
	学校教育	0	0	44	44	幼稚園教諭15名、保育教諭29名
	その他の教育、学習支援業	1	0	0	1	
	医療業・保健衛生	7	1	1	9	栄養士1名
	社会保険・社会福祉・介護事業	2	2	42	46	栄養士2名、保育士38名、指導員4名
	複合サービス事業	1	0	0	1	
	宗教	0	1	0	1	
	その他サービス業	2	3	0	5	
	公務	0	0	0	0	

2024.5.14作成

■ 図書館より

宇治キャンパス内には、図書館が三館（普照館・至道館・常照館）あり、約33万冊の蔵書を利用することができます。

中でも短大生がよく利用する至道館の図書館は、1974年竣工の一番古い図書館で、積層書架という珍しい構造となっています。

歴史ある貴重な資料を所蔵し、一方では最新の資料と情報も備えたどこかレトロな魅力ある図書館を目指しています。

学生は、三館それぞれのもつ資料の特徴や館内の雰囲気、開館時間の違いを上手く活用し、日頃の自習の場や居場所として利用しています。

資料の閲覧・貸出だけではなく、電子ブックの充実、DVDの視聴、パソコンの利用、グループ学習の利用など、学生のさまざまなニーズに対応するべく環境を整えています。

また、新入生対象図書館ガイダンスやゼミ単位等での図書館情報利用講習会の実施、学生が大型書店で自ら本を選ぶ企画「学生選書ツアー」の開催、栄養士・幼稚園・保育所の各実習に役立つ図書コーナーや授業の課題・就職活動・資格取得に役立つ図書コーナー等を適時設けるなど、少しでも学生にとって役立つ図書館であるよう日々工夫しています。

さらに所蔵視聴覚資料の紹介を兼ねた映画DVDの上映会やオリジナルしおり作りワークショップを開催し、大学・短期大学、学部・学科を超えて楽しめる交流の場となるような企画も展開しています。

これらの様々な情報は、キャンパス内での掲示ポスターだけでなく、図書館情報システムを活用した情報発信に加え、図書館情報誌「あーゆす」、図書館公式X（旧ツイッター）などでそれぞれの特徴を生かしたタイムリーな発信にも努めています。図書館情報誌「あーゆす」では、学生ライターも募集しており、これまで多くの学生が寄稿してくれています。バックナンバーは、図書館ホームページからご覧頂けますのでぜひご一読ください。今後も学生が安心して利用できるよう図書館運営に努めて参ります。

保護者の皆様におかれましても、地域に開放しております本学図書館をご利用頂きますようご案内申し上げます。

図書館利用証のお申し込み、その他詳細は図書館ホームページをご覧ください。

(<https://opac.library.kbu.ac.jp/drupal/>)



蔵書数（3館合計） 【2024年3月31日現在】

一般図書	333,639冊
絵本・文庫・新書等	60,770冊
視聴覚資料（DVD・VHS等）	9,105点
雑誌・新聞等	2,724種

オリジナルしおり

■ 社会連携部 フィールドリサーチオフィスからのお知らせ

◆ 京都文教大学・京都文教短期大学社会連携部フィールドリサーチオフィスについて

京都文教大学と京都文教短期大学社会連携部フィールドリサーチオフィスでは、地域に根ざした教育、研究、社会貢献を軸に、学生や教職員と地域の架け橋となり、学生が地域の方々とふれあい活躍できる場、教員が社会に貢献できる機会を創り出す役割を担っています。

【行政、経済団体との連携について】

本学は、これまで宇治市(平成22年2月)、京都府(平成27年3月)、久御山町(平成30年2月)、精華町(平成31年2月)、宇治商工会議所、城陽商工会議所、久御山町商工会(平成31年3月)、城陽市(令和2年1月)伏見区(令和2年3月)一般社団法人京都中小企業家同友会(令和4年3月)と連携協力に関する協定をそれぞれ締結し、地域との連携・協力を発展させながら、様々な取り組みを進めてきました。

また、京都府・滋賀県との就職支援協定を締結し、京都府や府内の企業と連携して「就職支援」「インターンシップ」「企業理解」をキーワードにさまざまな取り組みを強化・促進しています。

【学生、教員の地域での活動について】

学生たちはこれまで、地域の子どもたちや親子を対象にした食育活動や音楽イベントなどの企画・開催、市町村や企業と協同した地元農産物を使ったメニュー開発、にこにこルームや近隣幼稚園・保育所での活動や宇治市等で開催されている各種イベントへの出展参加など、地域との取り組みや社会への貢献を実践することで、授業での学習成果に加え、主体的に取り組む力や実践的・社会的学びを体得してまいりました。

(1) 宇治市役所食堂での「適塩ランチ」の提供

平成27年3月に公表された「宇治市健康づくり・食育推進計画(平成27年度～令和6年度)」で重点課題として挙げられている「生活習慣病の発症予防と重症化予防」の取り組みとして、令和4年度は宇治市役所食堂で、京都文教短期大学食物栄養学科(令和4年度時点学科名)望月美也子先生指導のもと同学科の学生と宇治市食生活改善推進委員協議会「若葉の会」が協働し考案した適塩ランチが提供されました。

(2) 城陽市「減塩メニュー」の考案

誰もが健康で人生の最後まで自分らしく暮らせるまちを目指すために、高血圧症の予防・改善を図るための「減塩」を核とした「健康で質の高い」まちづくりを進める取り組みに城陽市が令和2年度より京都文教短期大学との協働で事業を実施しています。

城陽市の広報誌である「広報じょうよう」と健康情報サイト「HEALATHO」(<https://healatho.com/>)には、京都文教短期大学食物栄養学科(令和4年度時点学科名)の学生が考案した減塩レシピや教員によるコラムの掲載、城陽市内の飲食店が取り組む塩分量を抑えた「減塩メニュー」の開発など様々な活動に取り組んでいます。

減塩も知識から!
減塩豆知識

間保健センター ☎ (55) 1111

減塩のコツ
天然塩でも
控えめに

京都文教短期大学
食物栄養学科
田中恵子教授

「天然塩は、ミネラルを豊富に含んでいて体に良く、減塩に向いていますか」と聞かれることがあります。確かに、精製されていない天然塩には、マグネシウムなどのミネラルが含まれており、まろやかで深い味わいを感じられる商品が多いようです。しかし、主成分は食塩ですから、一般的な食塩と同じように使う量には注意が必要です。

では、天然塩はミネラルの摂取源として良いものと言えるのでしょうか。実は、天然塩に含まれる代表的なミネラルであるマグネシウムから摂取できるミネラルの量は、豆類や野菜など他の食材に含まれる量に比べると、それほど多いわけではありません。ミネラルの摂取方法としては、天然塩に頼るのではなく、バランスの良い食事が大切です。

また、刺身や天ぷらなどに、天然塩をほんの少しつけると、食材の風味が引き立つといわれます。このような使い方は減塩につながるといえます。天然塩の良さを生かして、賢く利用しましょう。

【広報じょうようへのコラム掲載】

※図は『広報じょうよう』2023年7月15日号(No.1723)より。

(3) 「ぶんきょう子どもひろば」の実施

本学は宇治市から地域子育て支援拠点の事業委託を受けた特定非営利活動法人「まきしま絆の会」と協働で、キャンパス内に子育て支援施設「にこにこルーム」を開設しています。ここで幼児教育学科では各教員の専門性を生かし、「ぶんきょう子どもひろば」と称した各種プログラムを学生企画のもと実施しています。昨年度は、広い体育館での運動遊び、手作りのお店屋さんでいっぱいのごっこ遊び、構内の芝生広場を使っでの水遊び、打楽器を中心とした音楽遊び等を実施。近隣にお住まいの親子の皆様との笑顔溢れる交流を通し、学生自身も学びを深める機会となりました。また、ショッピングモールや児童館などでアウトリーチ型プログラムを実践するゼミもあります。



【ぶんきょう子どもひろば】

(4) 公開講座の実施・協力

令和4年度に京都文教公開講座「子育て世代の食の教室 手指の衛生～ウェットティッシュの使い方と注意点～」(ライフデザイン総合学科 ライフデザインコース 教授 田中恵子)・「子育て世代の食の教室～こどもの偏食の受け止め方と対応～」(ライフデザイン総合学科 ライフデザインコース 講師 岩田美智子)をぶんきょうにこにこルームにてとオンデマンド配信にてハイフレックス開催、伏見連続講座「親子で伏見クッキング☆～『桃』で感じる伏見！お菓子づくり～」(ライフデザイン総合学科 栄養士コース准教授 小西康仁)を開催や、オンデマンド配信している向日市減塩講座への講師協力(ライフデザイン総合学科 栄養士コース 教授 小椋 真理)等、本学の専門的知見を地域に還元しました。

その他、ともいき(共生)フェスティバルへの参加や、太陽が丘でのイベントの企画、うーちゃフェスティバルへの参加、MOMOテラスにおける幼稚園児対象の器楽演奏会の実施など、学生にとっても学科の専門知識や技能の習得にとどまらず地域連携活動を通して社会性や主体性・実践力を高め、卒業後の社会生活にも役立つ学びとなるよう支援しています。